

所在地:	山形県鶴岡市宝田1-15-80		
敷地面積:	26598㎡	延床面積:	11130㎡
設立:	1981年7月	従業員数:	136名
ISO14001取得:	1999年12月	ISO14001最新更新:	2010年7月
主要製品:	無線機、ホームオーディオ		
環境コミュニケーション:	10年度		
情報開示:	14件	工場見学:	125名
問合せ:	コーポレート管理部 環境・社会貢献室	地域貢献活動:	20件
		TEL:	045-450-2512



ごあいさつ

山形ケンウッドは山形県の日本海側に位置し、自然豊かな米どころでもあります。主な事業内容は業務無線機の生産活動を行っております。環境活動は1999年12月にISO14001を認定取得以来、環境保全活動は企業の社会的責任であることを深く認識し生産活動はもとより地域の環境活動にも力を入れ、環境負荷低減のため継続的改善に努めております。世界的にも環境への取り組みに対する意識が高まる中で環境法規制を遵守しつつ、一層の環境負荷低減活動を推進すると共に地域環境活動にも積極的に取り組み自然豊かな米どころ庄内を子や孫に残していけるようにしてまいります。



環境責任者  
伊藤 功

2010年度の環境重点テーマの取組み

目標	2010年度の成果
1. 省エネルギーの推進 CO2排出量56.2%減(1997年度比)	実績717.0t-CO2 達成率101.1%(目標:724.7t-CO2) ※使用エネルギーのほとんどは電力で、換算値は社内基準係数を使用しています。
2. 環境に配慮した製品の開発と生産 開発商品における部品種10%、工数10%削減する	部品種削減(電気部品22%減、機構部品13%減) 工数 1.8%増 ※製品単価を優先しソフトウェアを社内書込みに変更
3. 地域貢献活動 赤川河口クリーンアップ活動、工場見学受入れ など	環境コミュニケーション報告による

製品・環境配慮ポイントの紹介



国内向け特定小電カトランシーバー

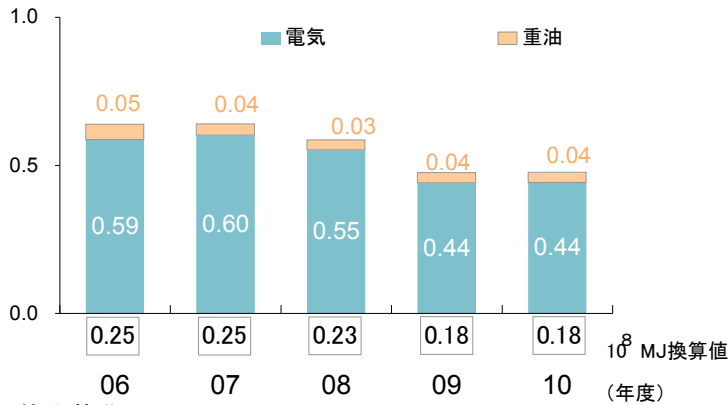
環境を配慮し、環境負荷の少ない部材を使用した生産活動に努めています。また、新製品の開発段階においては、フロントローディングによるQCD改善に注力し、工場電力の省力化も図っています。

環境パフォーマンスデータ

グラフ表示年 2010：2010年4月1日～2011年3月31日

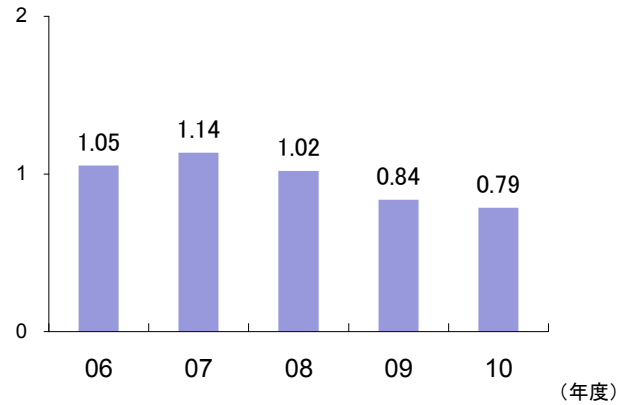
エネルギー使用量

単位：千kl



CO2排出量

単位：千t

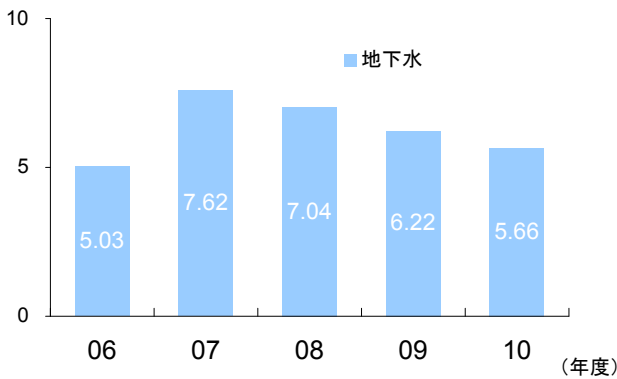


算出基準について

電力のCO2換算値は電気事業連合会の資料に準拠しています。2010年度のCO2換算は0.412kg/kwh(2009年実績値：2010年9月公表値)を使用しました。

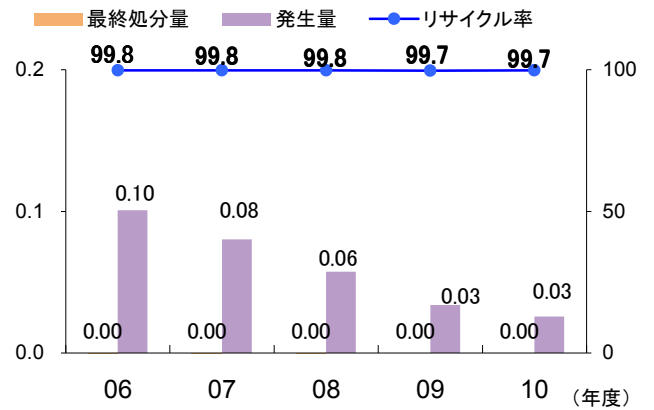
水の使用量

単位：千<sup>3</sup>m



産業廃棄物・有価発生物

単位：千t、%

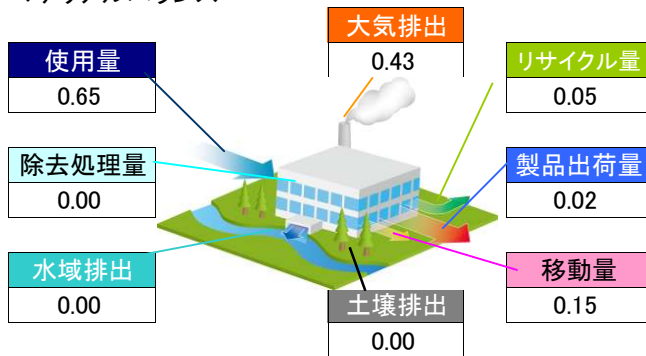


化学物質

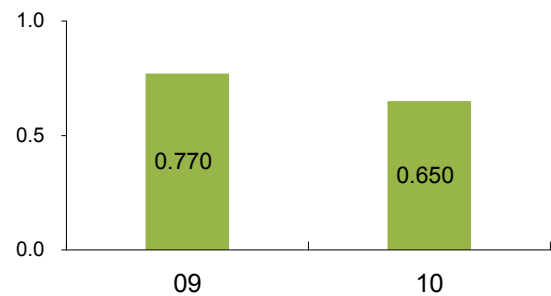
単位：t

マテリアルバランス

10年度



重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項

重点削減物質＝PRTR法、VOC(大気汚染防止法)、GHG(地球温暖化対策法)の中で、環境影響の大きいとされる物質を削減対象として指定しています。(電気・電子業界での使用実績の大きいものなど 約60物質群を指定しています。)

## 環境法令等の順法状況

10年度

## &lt;大気汚染物質計測状況&gt;

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm3/h	セクションボイラー	17.50	16.00		1.70	1回/年 ※自主測定
NOx	ppm	セクションボイラー	260.00	247.00		69.00	1回/年 ※自主測定
ばいじん	g/Nm3	セクションボイラー	0.30	0.26		0.00	1回/年 ※自主測定

## &lt;水質汚濁物質計測状況&gt;

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	N/A					
BOD	mg/l	N/A					
窒素	mg/l	N/A					
リン	mg/l	N/A					

## &lt;騒音・振動&gt;

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 コンプレッサー室 前敷地境界	70.00	69.00	56.00		1回/年
		夜 コンプレッサー室 前敷地境界	55.00	55.00	54.00		1回/年
振動	dB	昼 コンプレッサー室 前敷地境界	65.00	64.00	39.00		1回/年
		夜 コンプレッサー室 前敷地境界	60.00	60.00	29.00		1回/年

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

## 法令規制値超過について

報告すべき事項はございません。

## 指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません	

## 環境方針

## 【 環境方針 】

ケンウッドグループは、カーエレクトロニクス・コミュニケーションズ・ホームエレクトロニクスの事業活動、製品開発およびサービスにおいて、環境に与える影響を十分に認識し継続的に改善することにより、地球環境と資源の保全、汚染予防を図り、環境に配慮した企業経営に取り組みます。

1. 地球温暖化防止のために、環境負荷を低減する技術や商品の開発に取り組み、事業活動を含めたライフサイクル視点でのCO2排出量の削減を進めます。
2. 限りある地球資源の有効活用のため、3R活動を中心とした環境配慮設計を進め、循環型社会の実現を目指します。
3. 地球の環境と生物に影響を与える製品含有の化学物質を管理し、継続的な削減と安全物質への代替に努めます。
4. すべての事業活動、製品開発およびサービスが生物多様性に影響するという認識に立ち、総合的な環境負荷の低減に努め、自然環境との調和を目指します。
5. 環境側面に適用する法規制およびその他の同意した要求事項を順守します。
6. 環境保全の啓発として従業員に対して環境教育を行います。

この環境方針は、全社員に周知し、一般の方へも公開します。

2011年5月25日

## 環境負荷削減の取り組み事例

NX-200/300 (検査設計:周波数調整のインライン化)



## デジタル無線機周波数自動調整設備

デジタル無線機の生産過程では、温度環境を管理した条件下で周波数の調整を行う必要があり、従来の恒温槽を準備して対応することでは、工数などのムダが発生してしまうため製品開発段階から、設計と一緒にフロントローディング活動として、簡易的な設備を開発し、ムダをなくすことに取り組みました。他生産設備(治具)においてもスリム化をコンセプトに内製化を進めています。



## コンプレッサの更新及び排熱改善

老朽化に伴い入替えの際は省エネ型を選定。また排気ダクトの位置及びダクトへの断熱でコンプレッサ室温度上昇によるコンプレッサへの負荷低減を図っています。

## 環境コミュニケーション事例



## 山形県地球温暖化防止アクションプログラム「事業所のアクション」達成

山形県地球温暖化防止アクションプログラムに掲げる事業所のアクション「2010年度までに12%削減」(対2005年度比)を推進するため、二酸化炭素の自主削減に取り組む事業所を山形県地球温暖化防止アクションプログラム「事業所のアクション」参加事業として山形県で登録認定。

二酸化炭素排出量 2010年度、2005年度比40%削減達成

※二酸化炭素排出係数:山形県の係数使用



## 赤川河口クリーンアップ

2006年度から社員の環境への意識向上も兼ね赤川河口クリーンアップ活動を組合共済で行っています。この活動には庄内総合支庁、NPOさかたから支援、近隣企業からも参加をいただき産・官・民合同の活動となっています。今年度はFM山形から赤川河口クリーンアップ活動について取材を受けました。関連として赤川、内川を対象として実施している社員親子水質調査は今年で6年目を迎えました。



## 飛島クリーンアップ作戦参加

山形県唯一の離島である飛島のクリーンアップ作戦に第3回(2003年度)より社内参加者を募り参加しています。今年度は事務局含め7名の参加。10年目を迎えた今回は約330名の参加。おおよそ2時間の活動でしたがごみ袋約2,500袋、重さで推定5トンのごみが回収。ケンウッドの小電力無線機がスタッフの連絡用として活躍しています。



## 工場見学受入れ

地元小・中学校、高校、高専及び近隣企業など工場見学の受入れをしています。会社での取り組み事例を紹介をさせていただいており、こどもたちには環境教育の機会ともなっているようです。一般企業においては相互の情報交換の機会となっています。

写真は地元小学校 AA製造フロア実装ライン

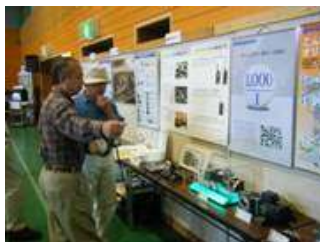
## 環境コミュニケーション事例

**近隣企業新入社員環境合同研修**

2006年度から当社が位置する鶴岡中央工業団地近隣企業と合同で新入社員環境合同研修を実施しています。あいにくの雨でしたので環境一般教育の後、体験型環境学習プログラムからアクティビティを1つ行い振り返りでは各自感想などを発表してもらっています。今年度は山形ケンウッド、ケンウッドからの参加はありませんでしたが近隣企業からの要望により実施しています。企業の垣根を取り払った活動、情報交換の場ともなっているようです。

**子ども環境学習ひろばに講師、スタッフ参加**

東北エプソンさんで主催している子ども環境学習ひろばに講師及びスタッフとして参加して今年で4年目となります。赤川河口クリーンアップや親子水質調査などの活動を紹介しながら、家庭から流れ出た廃油も海をよごしていること、私たちが出来ることを学んでいただき廃食油でキャンドルづくりを行いました。

**地域環境イベントへの参加**

会社環境保全活動のパネル紹介、生産製品の展示などを通して地域の方に当社を知っていただけるコミュニケーションの場と考え、地域で開催される環境関連イベントに積極的に参加・出展し地域との交流を図っています。

写真は環境フェアつるおか2010 小電力無線機について説明する伊藤社長  
環境フェアつるおか2010には実行委員会としても参画

**省エネ出前講座講師派遣**

(財)省エネルギーセンター及び庄内総合支庁より依頼を受け、山形県内の小学校を対象に地球温暖化に関する出前講座を行い、子どもたちから省エネルギーの大切さを学んでいただきました。また福島県からの依頼で地球温暖化防止活動推進を対象に出前講座を実施させていただきました。

**省エネルギー対策推進研修会にて事例紹介**

社団法人鶴岡労働基準協会主催研修会にて、私達にできる身近な省エネ活動についてと題して弊社省エネ活動事例を紹介させていただきました。参加された各企業からは関心を持って聞いていただいたとのこと。その後参加企業1社の工場見学を受入れ実際に現場を見ていただきました。

## 緊急事態への準備と対応

**考え方と訓練計画**

ボイラー・オイルタンク、少量危険物倉庫、コンプレッサー(騒音・振動)など環境設備に緊急事態が発生した場合を想定した訓練を毎年定期的実施し、訓練の結果を環境設備の取り扱い手順書等への見直しに反映させ、未然防止策の向上、特定業務従事者の習熟に役立てています。

**少量危険物倉庫**

MSDSを1ヶ所にまとめてファイルしていましたが万が一の場合探し出すのに時間が掛かってしまうの指摘があり保管品毎にファイルするように改善しました。